

## 第12回「防潮堤を勉強する会」要旨

日時：2012年10月3日（水）18時から20時30分 場所 ワンテン第ホール

### ●意見交換 勉強会でわかった事の整理 ⇒別掲載資料参照

1. 防潮堤を整備する背景（法律）に関する事
2. 防潮堤の構造に関する事
3. 防潮堤の予算に関する事
4. 防潮堤の影響（功罪）に関する事
5. 津波の特性に関する事
6. 防潮堤現行案の代替案に関する事
7. 防御する目的に関する事
8. 防潮堤に係る防災計画、まちづくりの考え方に関する事
9. 今後の進め方に関する事

### ●課題の整理

1. 合意形成の必要とあり方について
2. 守るべきものについて
3. 浜によって状況が違う—それぞれの浜での解決策が必要
4. それぞれの浜の計画と全体計画の関係性についての整理
5. 防潮堤とまちづくりがセットになってしまっている地域の対応
6. 市域防災整備計画がまだ見えない
7. 今回の防潮堤計画における市の役割について

### ●市長さんへの質問について

#### 【住民意見の反映について】

1. 地方自治・住民自治の観点から、もっと積極的に住民の意見を防潮堤計画（特に高さについて）反映させる必要があると思いますがどう考えていますか？
2. 住民の合意にもっと市は積極的に関与すべしとの声がありますが、どう考えていますか？市として、どこでどの様に合意形成を図ろうとしていますか？
3. 何をもちて合意と判断したら良いと思われませんか？
4. 防潮堤計画における市の役割・権限はどのようなものと考えますか？
5. 市として高さについて県に提案することは、やはり出来ないのでしょうか？

#### 【守るべきものについて】

6. 防潮堤は何を守るために建設することになりますか？防潮堤の海側にあつていいものについて、結局どう考えますか？
7. 市長さんの思う防潮堤のデメリットとは、どの様に認識されていますか？
8. 多様な地域の状況に対して防潮堤のあり方も多様なはずだと思いますが、どう考えますか？
9. 海岸法の条項に、景観・利便性についての記載がありますが、これについてどう思われますか？
10. 防潮堤によって景観が変わる、景観や環境を売りにしてきた観光は成り立たないのではないか、と

いう心配の声が上がっていますが、今後の観光についてどのように考えていますか？

1 1. 防潮堤が計画通りの高さで建設された場合の市域の全体像が見えにくいと思います。市として市民に見える形をとることは出来ないでしょうか？

【市域の防災整備計画について】

1 2. 総合的な津波防災対策について防災施設・まちづくり・防災体制の充実を三本柱で考えるとしていますが、基本的な考え方は出ているものの具体的な計画はいつ・どのような形で示されますか？

1 3. 市としての防潮堤に関しての今後のスケジュールはどうなりますか？

1 4. 市長が考える『海と生きる』とはどういうものになりますか？

・以上について事務局より内容説明後、意見交換。10月6日まで各自の質問案を振り返りシートに記入の上、FAXすることとした。

・尚、既に解っている内容やダブリを避けるため、18日の市長さんへの質問はこの集まった事前質問案から会事務局にて選抜し実施することの説明、参加者了承。

#### ●勉強会の今後の進め方について

・事務局より、今後市長さんとの意見交換を経て、この会の地域での役割の考え方の説明があった。

・質問案同様、振り返りシートにて参加者の意見を集め、発起人会で検討、判断の上、可能な範囲で役割を果たしていくことを説明。

<次回 第13回「防潮堤を勉強する会」> 10月18日（木）18時～ ワンテン大ホール

●テーマ：勉強会のまとめ「勉強報告会 市長さんとの意見交換会」